

9月14日（月）私たち日本の女子高生にできること（Free the Children 天野フェイス冬樹氏）

- 日時 平成27年9月14日（月）15:30～17:00
- 演題 「女の子の教育と医療の現状 ～私たち日本の女子高生にできること～」
- 講師 Free the Children 天野フェイス冬樹氏（参加生徒人数 21名）



[天野フェイス冬樹氏によるワークショップ]



～生徒の感想～

これまで、社会問題について勉強し、知識を得てきたが、いざそれを解決するとなると、「大人になってから」という考えがあった。調べる・知る・伝えるのは、誰でもすぐに実践できることだと思う。

“Gift+Issue=Change”という法則もとても分かりやすいので、これからは、自分の特技を活かして社会問題の解決に役立てていきたいと思った。

【Free the Children とは】

1995年、カナダにて当時12歳のクレイグ・キールバーガー少年によって設立された国際協力団体。現在、45ヶ国で170万人以上の子どもが活動する“子どもによる子どものための国際協力団体”である。1999年に日本支部が設立された。本日は、その専任スタッフである天野氏に講演して頂いた。

【ワークショップ】

□医療の格差を知る

生徒は横一列に並び、質問（近くに病院はあるか、水洗トイレはあるか等）の回答によって、各自が一步步ずつ前進、または後退する。全ての質問が終わった時に立つ位置で医療の格差を把握できる。

□様々な国の人々を知ろう

いろいろな国の人々について、国名・性別・年齢からその人の生活環境や医療事情を想像し、話し合う。その後、詳しいプロフィールが明かされる。先進国に住んでいても貧困に苦しむ人もいれば、後進国でも裕福な人もいる。国・性別・年齢だけを聞いた時の先入観と、事実とのギャップを実感する。

□自分に何ができるか“Gift + Issue = Change”

自分の得意なこと（Gift）と、社会問題（Issue）を書き出す。GiftとIssueを組み合わせて、何ができるかを考える。

[生徒の提案]

- ・“料理 + 国際問題 = 料理の文化交流会”
- ・“笑わせる + いじめ・自殺 = 漫オライヴ”
- ・“歌う + 日中韓 = お互いの国の言葉で歌う”等

【天野氏より】

皆さんは世界を変えられる。世界を変えるとは自分を変えることであり、日々の生活の中で行動すれば、すでに世界は変わっている。“What can I do?”と問いかけ、小さいことでも行動してほしい。まずは、「調べる・知る・伝える」ことから始めよう。